

ばんぱく 万博へ行こう！

シグネチャーパビリオンや海外・国内・民間パビリオン、公式主催イベントなど、「未来社会の実験場」として、学びと遊びを融合した体験やワクワクする未来への原動力となる感動が得られ、世代も文化も超えて楽しむことのできる見どころがいっぱい！

見どころの一例

公式サイトはこちら



パンフレットはこちら



※チケットの購入方法等は裏表紙をご覧ください

シグネチャーパビリオン 各界の最前線で活躍する8人のプロデューサーが主導する創造的なパビリオン

【いのちの未来】

ロボットやアンドロイドに当たり前のように囲まれ、人間とアンドロイドの境界がなくなる。そんな50年先の未来を体験。



8つのシグネチャーパビリオンの紹介はこちら



©FUTURE OF LIFE / EXPO 2025

海外パビリオン 160を超える国・地域・国際機関が最新技術や独自の文化を紹介

【ドイツパビリオン】パビリオン自体が循環型・持続可能な建築の出展作品。循環経済「サーキュラーエコノミー」が体感できる。

【イタリアパビリオン】芸術や美術を紹介。屋上ではオリジナル素材のイタリア料理が楽しめる。 など



海外パビリオンの紹介はこちら

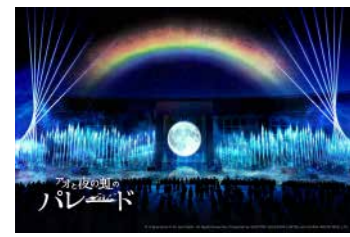


ドイツパビリオン
©German Pavilion/
MIR LAVA
fact + fiction

公式主催イベント

【アオと夜の虹のパレード】

「水」と「空気」をテーマにしたスペクタクルショー。約300基の噴水装置とウォータースクリーン映像、音楽やレーザー、炎などを駆使した壮大なエンターテインメント。ウォータープラザにて日没後に毎日実施予定。



提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会



国内/民間パビリオン

日本政府館をはじめ、国内13の企業や団体等が出展予定で、「iPS心筋シート等の最新テクノロジー」、「実物大の全高16.72mガンダム像」、「カーボンニュートラルの実現に向けた未来の技術」、「離れた場所と空間そのものをつなぐ空間伝送技術」など、本万博のテーマに沿った多くの展示や体験等を提供。

国内/民間パビリオンの紹介はこちら



関西パビリオン

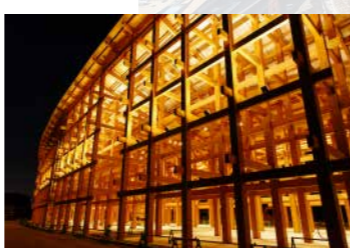
本県も構成団体の一つである関西広域連合は、関西パビリオンを出展し、関西各地の魅力を発信します。関西全体を展示するパビリオンの中心を囲むように、各府県が創意工夫を凝らした展示を行います。

出展参加府県:滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

各府県ゾーンの展示内容はこちら



提供：関西広域連合



提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

大屋根リング
全長約2km、高さ12m(外側は20m)、幅30mの世界最大級の木造建築物で本万博のシンボル。大屋根リングの屋上からは会場全体をさまざまな場所から見渡すことができ、リングの外に目を向ければ、瀬戸内海の豊かな自然や夕陽を浴びた光景、大阪の街並みなど、海と空に囲まれた万博会場の魅力を楽しむことができます。



提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

開催概要

名称:2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)
期間:2025年4月13日(日)~10月13日(月)
場所:大阪 夢洲(ゆめしま)
テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン
コンセプト:未来社会の実験場
公式キャラクター:ミャクミャク
会場の広さ:約155ha(甲子園球場40個分)
参加表明国・地域:161か国・地域 ※2024年11月1日現在



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025



アクセスはこちら
※JR和歌山駅から会場まで約100分

問 万博推進課
ばんぱくいしんか
☎073-441-2703
FAX 073-432-4410

県政最前線
もうすぐ開幕！

ばんぱく 万博でつなげる 世界とわかやま

万博とは

「万国博覧会」の略称。世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場。日本では1970年に大阪、2005年に愛知で開催。

開幕に向けて着々と準備が進行中(2024年11月20日撮影)
提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、株大林組 撮影：株伸和